

今月のトピック

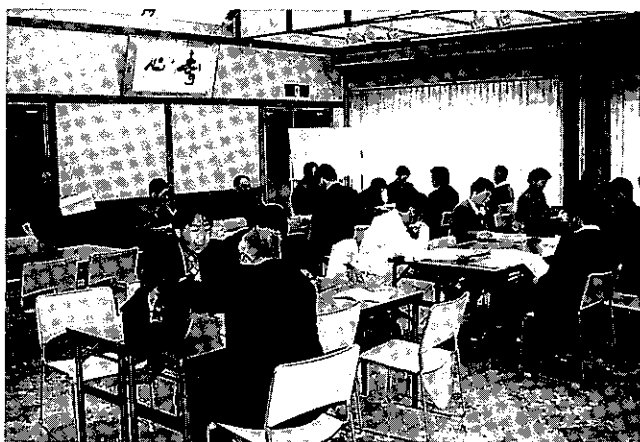
◆「己が走る」地域起こし

～集落リーダー研修会を開催しました～

2月18日から19日にかけて、只見町の「季の郷 湯ら里」において、南会津管内の認定農業者、農業改良推進員、農業士等地域のリーダー約70名を集め、地域活性化・農村集落リーダー研修会を開催しました。

18日は、集落づくりについて只見町梁取集落の菊池春一氏、遊休農地の有効活用について田島町水無の室井豊一氏より事例発表があり、先進的な取り組みをしている現場の生の声を聞くことができました。続いて地域戦略研究所より新藤健一郎氏を迎え、テーマやターゲットを絞り込みこだわりを持った地域起こしについて基調講演がありました。

19日は、班に分かれてバズセッション方式による研究討議を行い、活発な意見交換が行われました。



地域活性化のための自由な意見交換を行いました

◆まるごと体験モニターツアー2月コースを実施しました

2月19日から21日にかけて南会津地方グリーン・ツーリズム推進協議会主催による南会津グリーン・ツーリズムまるごと体験モニターツアーを実施しました。今回は伊南村、只見町をメインエリアに、首都圏及び県内より16名が参加し、スノーモービル、タイヤチューブ乗り、そば打ち、つる細工等を体験しました。

雪の斜面を滑り降りるタイヤチューブ乗りでは、大の大人が奇声を上げ、そば打ちでは、自分たちで打ったそばを、スタンダードな「ざる」と会津地鶏や地元の野菜などが入った具だくさんの汁をかけた「田舎風」で堪能しました。

今回で、今年度企画した計4回のモニターツアーが全て終了しました。このモニターツアーの実施結果をふまえ、3月11日には参加スタッフ・インストラクター等を集め、今年度の反省を来年度に生かすための実績検討会を開催しました。



自分で食べるそばを打つので皆真剣です

◆南会津地方広域JA連絡協議会を開催

2月5日、田島町の南会津地方広域行政センターにおいて、南会津地方広域JA連絡協議会を開催しました。

協議会では協議会員である南会津農林事務所長、管内町村長及びJA等関係団体の首長より、南会津地方の農林業振興やJAと町村との連携等について活発な意見が交わされました。

本協議会はJAの広域合併に伴う様々な課題に対し、関係機関が連携を取って対応していくために平成7年11月に設立されましたが、来年度より、JA会津みなみが事務局を持つ「会津みなみ農業協同組合営農協議会」に役割を引き継ぐこととなります。

◆南会津地方のグリーン・ツーリズムに関する懇談会を開催

2月19日、2月24日及び3月4日の3日間、田島町、館岩村、只見町の3カ所において、農業者、商工観光業者、JA、旅館・民宿経営者等、各界・階層からそれぞれ15名を集めグリーン・ツーリズム懇談会を開催しました。

県では、「県庁構造改革プログラム」の一環として行政評価システムを導入することとなり、平成10年度は相双農林事務所と当事務所が試行することになりましたが、行政評価の前段として地域住民の意見聴取を目的に本懇談会を開催しました。

懇談会では組織づくり、インストラクターの発掘やコーディネーターの養成等について参加者より様々な意見が出されました。こうした意見は平成11年度の南会津地方グリーン・ツーリズム推進協議会の事業計画など、今後のグリーン・ツーリズムの推進に役立てていきたいと考えています。

◆南会津産酒造好適米が高い評価

2月23日から2日間、下郷町湯野上でJA会津みなみ主催の南会津郡酒造用米検討会が開かれ、酒造メーカーに南会津郡内で栽培された酒造用米の評価を伺いました。

南会津郡内では、酒造原料の大部分を占める「かけ米」用に「たかねみのり」が栽培されていますが、味や香りを決める「麴」や「もと米」として使われる酒造好適米は栽培が難しいため、高価な米にもかかわらず、他産地から購入しています。

検討会では只見町で試験栽培した酒造好適米

※※※ たずねて見たい！
南会津のさくら ※※※

【大門川畔のさくら並木】

所在地：田島町公民館前から国道121号までの大門川堤防沿い。

種類：ソメイヨシノ

見どころ：昭和34年大門川堤防の竣工を記念し、田島青年会が記念植樹した桜で、大門川の清流に花影を映し一斉に咲く景観は町内の名所となっている。

見頃は4月下旬。

交通：国道121号線田島町大門橋交差点を堤防沿いに東進。

「美山錦」と「五百万石」が注目されました。試験醸造した杜氏によると「美山錦は主要産地の長野県産並、五百万石は県内他産地並」と初年目としては予想外の高い評価で、関係者一同大喜びしました。

その後、試験醸造されたきれいの良い本醸造と香りの良い純米酒を試飲し、出席者は南会津産米100%の酒の実現と酒造好適米の産地化に思いをはせていました。

◆農業農村整備事業に関する研修会を開催

2月2日、田島合同庁舎において南会津地方における農業農村整備事業の円滑かつ効率的な推進を図ることを目的として、管内町村の担当課長・土地改良区事務局長等関係者を集め南会津地方農業農村整備事業推進連絡会を開催しました。

研修会は農業農村整備事業の実務に関することから、業務へのインターネットの活用講習まで多岐に渡った内容となり、参加者から好評を得ました。

◆平成10年度農林統計地区別協議会

2月23日、会津田島ふれあいステーションにおいて東北農政局福島統計情報事務所会津若松出張所主催により農林統計地区別協議会が開催されました。

統計情報事務所担当者より平成10年産の水稻作柄の概要について説明があったほか、農林漁業現地情報や統計情報事務所のホームページ等、積極的な情報発信を今後とも行っていきたいとの説明がありました。

3月に入り、急速に雪解けも進み、もうすっかり春の景色となってきました。

春といえば桜・お花見。そこで南会津地方の桜の名所をご紹介します。



【戸赤のさくら】

所在地：下郷町戸赤向山周辺

種類：オオヤマザクラ

見どころ：明治18年に「留め木」に定められ、伐採することを禁止し、長い間地域の住民により大切に守り育てられてきました。このため、桜は樹齢100年以上の古木ばかり。木々の若芽が萌える薄緑色の山肌に、オオヤマザクラの紅色とタムシバの白色が映えます。

向山一帯には、遊歩道や東屋なども設けられ、ゆっくり花見が楽しめます。

見頃は4月下旬から5月始め。

交通：国道121号線下郷町姫川地内から戸石川沿いに県道舟鼻・下郷線を西進し、途中三ツ井



集落を経て約10km

特集！農政改革大綱と新しい農業基本法について

○「農政改革大綱」と「新農業基本法」

この2つは、昨年12月からつい最近まで、農業関係の大きな話題として、新聞・テレビなどで大きく取り上げられ、学者・農政担当者だけでなく、各地の農業者の発言も多く、議論が活発です。しかし、その使われている言葉も難しく、なかなか理解しにくい内容が多いので、今回と次回の2回に分け、要約し説明することにしました。

○「農政改革大綱」って何に？

農水省はこれからの日本の、食料・農業・農村政策の方向を示した「農政改革大綱」と「農政改革プログラム」を昨年12月に決定しました。

この農政改革大綱は、これまでの農業基本法にもとづく戦後の農政を、その反省を踏まえて国民全体の視点に立って抜本的に見直しいくつかの新しい政策を盛り込んでいます。

この大綱は国の農政の根幹というべきもので、これにもとづき「新農業基本法」が制定され、併せて関連の農業法が改正、新設されることとなります。

～研修会・講習会のお知らせ～

農業短期大学校研修

内 容	日 時	場 所
①トラクタ基本運転（第1回） トラクタの基本的操作と安全運転技術を習得し、大型特殊自動車運転免許（農耕車限定）の取得を目指します。 対象：普通自動車免許所有の農業者	5/31～ 6/3	農業短期大学校内

さらに、「これらの施策が具体的に実行されるように農政改革プログラムを定め、定期的にその見直し作業を行い、社会情勢の変化に沿った、国民によく見える、そして効率的に進める」としています。

○農業基本法見直しの背景は？

昭和36年に、経済成長が急激に進み、農業と他産業との間に生産性、生活水準等に大きな格差を生じたことから、その是正を目的に生産政策、価格・流通政策、構造政策の3本の柱に農業行政の基本的な進め方を「農業基本法」として定め、それに基づき農政を進めてきました。

しかし、40年近く経過した現在、農家の生活水準の向上など、一定の成果を上げてきたものの、農業・農村を取り巻く状況が大きく変化し、現状と農業基本法のめざすものがかけ離れ、見直しを図る必要が出てきました。

（新農業基本法の内容等については次回に記載します。）

内 容	日 時	場 所
②市民農業講座：家庭菜園～栽培技術と楽しみ～ 内容：野菜の生理、春夏野菜の栽培技術	5 / 27	農業短期大学校内

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

窓

年 度 末

早いもので、昨年4月にスタートした南会津農林事務所も、はや年度末を迎えた。1年間、地域の皆様にお世話になりながらどうかその任を果たせたと思う。

3月1日、T高校の卒業式に出席。涙も笑いもトラブルもなく実にクールな別れであった。最近では中学校の方がにぎやか(?)とか。

小生も今から30数年前の3月、「明日からは 北と南に分かれ行く 友と語りぬ 千鳥ヶ淵で」と気障に別れ、東京を脱走した思い出がある。

卒業や転勤、農家の皆様には一部出稼ぎの別れも、また我々公務員や一般会社、農協等でも年度末3月はそれぞれ喜怒哀楽の別れがあり、送別会もそこそこにある。

「心の痛みのわかる人事であったかどうか、あの人は喜んでくれただろうか」と思い悩む季節でもある。

会津の三泣きのごとく、情が移り「もう一年置いて下さい」の人も、しかし「石の上、三年たったら次の石」の人もままある。

南会津の楽しい(?)思い出を胸に、次の職場でもどうぞ健康で働いて下さいと、念ずる年度末である。

そして新たなスタッフが加わり、新体制のもと、4月からは当農林事務所も2年目のスタートを切る。地域に密着した、地域に愛される農林事務所を目指して「南会津のうりんニュース」での情報発信も続けたい。

所長 横田

3ヶ月予報

仙台管区气象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

3月 この期間は気圧の谷が周期的に通過するでしょう。天気は周期的に変わりますが、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高い見込みです。

4月 天気は周期的に変わるでしょう。日本海側、太平洋側共に平年と同様に晴れる日が多いでしょう。

5月 天気は周期的に変わるでしょう。日本海側、太平洋側共に平年と同様に晴れる日が多いでしょう。

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。
郵便・FAXどちらでも結構です。

この広報誌は再生紙を使用しております

あて先

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866

FAX 0241-62-5349